

人間生活工学ワークショップ 「UXの奥と先にあるもの」

日時：2015年11月16日（月曜） 13:30～17:00（13:00より受付開始）

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館2階第3会議室（東京都新宿区大久保3-4-1）

主催：早稲田大学創造理工学部人間生活工学研究室・(一社)人間生活工学研究センター（HQL）

【開催の狙い】

UX (user experience) という言葉が当たり前のように使われるようになりました。もともとは、システム利用者のシステム使用経験の観点から、ユーザビリティやユーティリティを設計するというニュアンスでしたが、体験、経験、感動等の価値デザイン、そして“おもてなし”“かわいい”等の文化とも絡み合って、暮らし全体を深く楽しくデザインすること、その観点からモノやサービスを提案していくこと、という新たな価値創造にも深く関係してきているようです。UXは「こうであらねばならない」というものはないと思いますが、それでも、その根底にある“何か”に考えをめぐらし、これからのUXの先を見ていくことはとても重要です。今回のWSでは、3名の演者の方から広く話題を提供していただき、これらのモノづくり（有体・無体含めて）に展開して行くことを目標としています。

(ナビゲート：早稲田大学創造理工学部 経営システム工学科 小松原明哲教授)

1 「不便の効用を活用するモノ・コトづくり」

川上浩司先生 京都大学 デザイン学ユニット特定教授／不便益システム研究所代表

不便だから良かったと思った事はありませんか？ それを不便益と名付けて、不便益をもたらすモノやコトをデザインするための研究所を web 上に作りました。人間機械系と呼ばれる分野では、機械側単体の効率化や高機能化ばかりを追求することの問題が指摘されています。人間を取り込んだ系から見ると、不便の効用が人側に現れます。ただ、不便にするだけではダメです。益をもたらす不便をデザインする試みを紹介します。

<http://fuben-eki.jp/> 「不便益」

2 「京都のこだわり」

谷川 隆先生 株式会社日商社 代表取締役社長／京都広告業協会会長／京都広告協会副理事長

京都は1月から12月までそれぞれ、色が鮮やかに異なる街です。季節にまつわる歳時があり歳時にまつわる商品があり商品にまつわる店舗があります。永い歴史に育まれた生活の中に文化が存在します。それは京都の地産地消です。万博以降、経済が豊かになり世の中がグローバルになって京都の名物も成長したのか退化したのか、京都人が京都の土産について一端をお話します。

<http://www.nisshosha.co.jp/> 「日商社」

3 「ユカイ工学のユカイな製品たち」

青木俊介先生 ユカイ工学株式会社 CEO／グッドデザイン賞審査委員

ユカイ工学は、「ロボティクスで世の中をユカイにする」をテーマにネットとリアルを繋ぐプロダクトをつくる会社です。

私たちの作った、真面目にユカイ，役立つユカイ，愉快的ユカイの製品たちをご紹介します。

<http://www.ux-xu.com/#> 「ユカイ工学」

4 質疑とディスカッション

先生方とともに自由な意見交換を行い，参加者の皆様と，これからの人間生活工学と UX，商品やサービスデザインと UX について考えていきます。

【ご案内】

どなたでも参加できますが，事前にお申し込み下さい。

会場の都合により先着 50 名まで受け付けます。

申し込み先： 人間生活工学研究センター東京事務所 kouza@hql.jp (FAX : 03-5405-2143)

氏名と所属・連絡先，HQL 会員にはその旨を明記して下さい。

参加費 : 2000 円 (HQL 会員は 1000 円)。当日受付にて支払い。

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車が極めて便利です(キャンパスは駅に直結)。

駅 (早大理工方面出口) 左手真上の校舎が会場となります (会場は 55 号館 2 階)。

